

古井戸の再生

k.s

1、井戸の思い出

子供の頃の大切な仕事にお風呂の担当があった、水汲み、風呂焚き、煙突掃除と子供にはなかなか力仕事であった。燃料も薪から石炭へ変わっていく時代の日課であった。

中でも厄介だったのが風呂の水汲みだった当時の井戸ポンプはどの家もガチャポン式で構造は全て木製、無理をすると吐水口や支柱の支持点が壊れやすく子供心にも注意深く扱った記憶がある、井戸はお勝手に有り風呂場と約4メートルほど離れていた、竹のパイプを仮止めして吐水口に繋ぎ水を送る。継ぎ手が外れたり、風呂に水が入りすぎたり散々だった。

井戸は正月 輪飾り、お灯明を上げて井戸神様を祭り、夏はスイカを冷やし井戸水をかぶれば現在の冷房以上のありがたい効果があった。

上水道、ガスが完備したのが昭和30年代だった風呂当番も自然消滅した、上水道が来てから井戸は主役から外れた。昭和10年頃に作った掘抜き井戸で内径75センチのコンクリート製の側で深さは約GL-4.0の浅井戸である。

2 井戸の長期休業

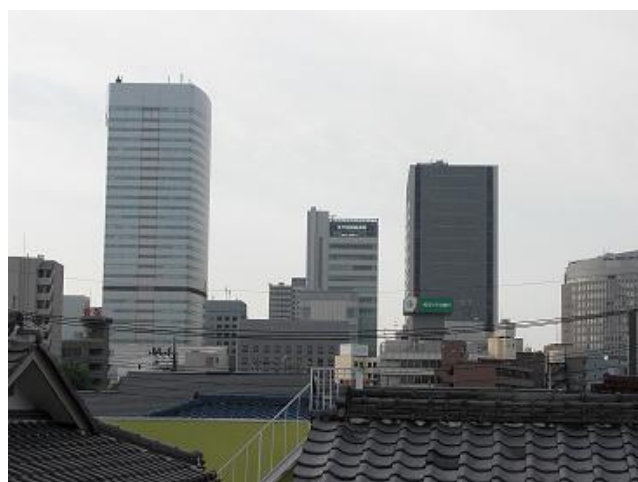
30年程前 二世帯住宅で建替えをして現在に至る井戸はガチャポンを外し家庭用モーターポンプで庭に散水するのみとなった。

まもなくして大宮ソニックシティ、大宮駅の大改造の工事が始った。我が家から直線距離で、ソニックシティは南へ300メートル大宮駅は南東500メートルほどである、ソニックは東京以北初めての超高層、大宮駅は新幹線と埼京線(総地下)でいずれも大々的な地下工事である。

井戸の出具合が悪くなりそのうち揚水しなくなった、ポンプが壊れたのかあるいは湧水だろう、庭の散水には屋外水栓で充分ということでそのままにしておいた。

ある日突然工事関係者の訪問を受けた用件は井戸を調査させて欲しいとの申し入れがあった、理由を尋ねるとウェルポイントで工事したため直近の家から湧水のクレームがあり周辺調査をしているとの話、改めて井戸側のコンクリート蓋を開けてみると水面が見えず枯れていた。

以来10数年モーターポンプも使わず放置し用済みの井戸となり長期休業となった。



(ソニックシティ)

(シーノ)

(法科大学院)

ソニックの左側に大宮駅がある

3 井戸の再生

10年前、庭でコーヒーを飲みたいという家族の意見がありデッキフロアを作ることにした、デッキの土台作りのとき何気なく井戸の蓋を開けると何と青空が写っていた用済みにしてから10数年、ソニックのあと高層ビルが立ち並びとても再生しないだろうと決めていたのに何時戻ったのか、4メートルの浅い地下水脈の流れどう復元したのか、不思議な思いもあったが喜び驚きが先にあった。

「この際昔の井戸を再生しよう」

ガチャポン井戸は街中の店には見当たらず農業地域のホームセンターにあった、鋳鉄製の35型、台座、塩ビパイプ50A、エルボにデッキの材料を購入費用はポンプ関係で3万円程度だった

11号—2

井戸再生工事は思ったより簡単に出来た、水深を測り出来るだけ底からの取水を考えて取水口から土砂流入防止のエルボで返しをとった。

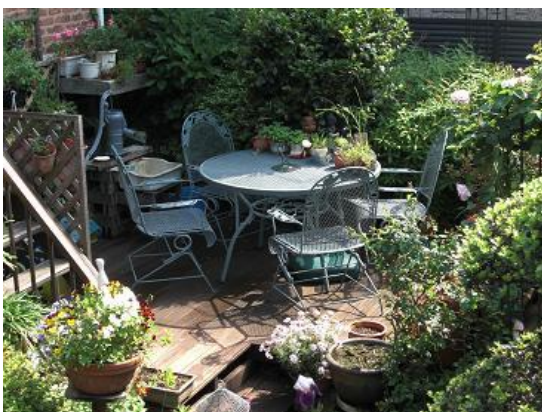
(後でわかったことだがストレーナー付のフット弁を付ければ土砂流入防止と水落ち防止が可能だった) 鋳鉄製のポンプが以外に重く自由が利かない、台座、塩ビパイプの取付け手順を間違えないように注意が肝要である。テスト用の台座に酒瓶のFRPケースを使ったのはうまく機能した。

作業時間はデッキに時間が掛かり井戸は2日でセット完了した、呼び水を挿しながらポンプを汲むと待望の水が勢いよく出てきた始は茶色の濁った水暫らくすると昔と変わらないきれいな水となり吐出量も充分であった、これで古井戸復活 災害、非常時の水も確保できたと思った・・数日後保健所に水の検査をお願いしたら結果「飲用不適」のお墨付きであった昔は飲料水、台所、風呂、全て利用した井戸だった。

その後順調に使用している、17℃前後と年間一定温で水枯れは起こしていない、夏は冷たく冬は温かい無料の水、それ以来庭の散水、掃除、つくばいの補給水にと毎日のように使っている、昔を思い出しながら

現在の風呂当番はスイッチを押すだけで湯張り完了、技術開発の進化に感謝だが趣が無くなった感じ

それにしても年間一定温の特性をうまく利用できないのか空気熱源よりはるかに有利と思うのだが家庭用空調機、定温貯蔵庫、温暖化防止など・・



(デッキの左奥に井戸ポンプ)

井戸水の上手な利用法をご存知でしたら教えて下さい、マンションとか地域の仲間で井戸堀をして井戸端会議の中心としている情報もネットにありました。



(ガチャポン井戸とつくばい)

4 井戸・地下水、豆情報

*常水位はボーリングで調査 関東平野では概ね 10 m程度あれば取水可能らしい近隣の既存井戸情報が大きなポイントとなる。

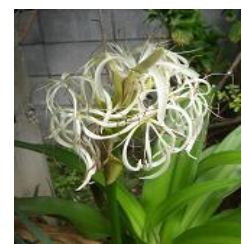
(昔の井戸堀は最初どんな調査をしたのかな)

*現在井戸の掘削はガチャポン井戸であれば 200mm径で掘削する、手動掘削機のレンタルもある、地域の仲間で掘削をしてる例もある 掘削業者も沢山ある。

*地下水の取水規制は「工業用水法」「建築物用地下水の採取に関する法律」のほかに都道府県の条令で総取水量、口径で制限がある。

*地盤沈下は関東平野北部と東京湾岸、大阪平野、濃尾平野、筑後佐賀平野で大きく沈下した。

*日本の地下水利用は年間 124 億m³主に生活用、工業用、農業用で 84%を利用している。



井水で育った (シュロの花) (浜木綿の花)